

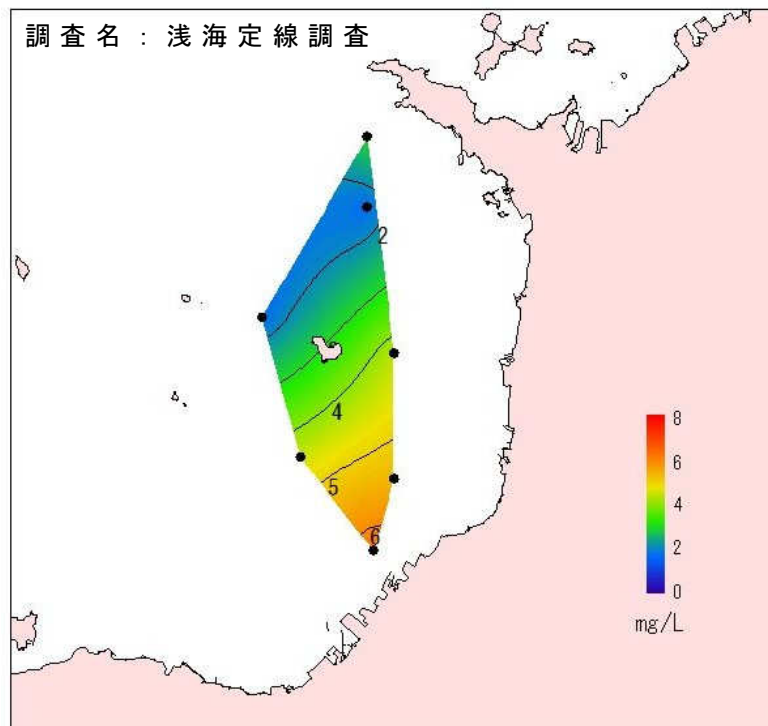
## 燧灘貧酸素情報（第 4 号）

香川県水産試験場

### 10月2日観測結果

伊吹島の北部から西部にかけて、溶存酸素濃度（DO）2mg/Lを下回る貧酸素水塊が確認されました。気温低下により鉛直混合が進み、表層と底層の水温は均一になっていますが、海底での酸素消費が活発なためか、例年になく貧酸素が長期化しています。

今後さらに冷え込んでくることで、貧酸素水塊は解消に向かうものと思われます。



#### 溶存酸素濃度（DO）の目安\*

溶存酸素濃度	生物への影響
4.3mg/L 以下	魚類・甲殻類・底生生物（ベントス）に影響
3.6mg/L 以下	貝類に影響，甲殻類の生存困難
2.9mg/L 以下	底生生物（ベントス）の生存困難
2.2mg/L 以下	底生魚類の生存困難

\* 漁場環境容量策定事業報告書（水産資源保護協会 1989）を参考にしています。